

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	江北町立江北中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校評価保護者アンケートの「お子さんが本校の生徒でよかったですか」とは、昨年度同様92%の保護者が肯定的な回答であった。学校評価生徒アンケートの「あなたは、学校が楽しいですか」とは、昨年度より3ポイント減少し84%、「あなたは、学校生活の中で相談できる人（先生、スクールカウンセラーや友達など）いますか」とは、昨年度同様84%の生徒が、友人関係や進路・学習面など、さまざまな面で不安を抱えながらも肯定的な回答であった。このことから今年度の学校教育目標に沿った教育活動はおおむね推進できていると考えられる。しかし、「学校が楽しい」と肯定的に答えている生徒が、昨年度より減少しているため、コロナ禍でも魅力ある教育活動ができるように工夫改善していく必要がある。</p> <p>・学校評価生徒アンケート「先生方は、わかる授業に努めていると思いますか」とは、昨年度より1ポイント増加し93%、学校評価保護者アンケート「学校は、わかる授業に努めていると思いますか」でも、昨年度より1ポイント増加し86%であった。12月実施の1、2年生の佐賀県小・中学校学習状況調査では、県の正答率を下回る教科もあることから、学力向上への具体的な取組を検討し実践していく必要がある。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成
----------	-----------------------

3 本年度の重点目標	<p>◎基礎学力の定着と「主体的・対話的で深い学び」の実践に向けた授業の工夫・改善を図る。</p> <p>◎生徒指導の三機能を充実させ、自己指導能力の育成を図る。</p> <p>◎小学校や家庭・地域と連携した教育実践を図る。</p> <p>◎道徳教育及び人権教育を推進・充実させ、心豊かな生徒の育成を図る。</p> <p>◎特別支援教育の推進を図る。</p> <p>◎業務の適正化を図り、教育効果を上げる。</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価	
---------------	--------	--

(1)共通評価項目				最終評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・全教職員のマイプランを一覧表にまとめ共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。			
	○自分の考えをもち、表現できる生徒の育成	○「自分の考えをもち、表現することができた」に肯定的な回答をする生徒の割合を70%以上。	・「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の1時間完結型の授業を実践するとともに、自分の考えをまとめる場を設定する。 ・生徒による授業アンケートを学期に1回実施し、授業改善を行う。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○全職員で道徳教育に取り組み、深い学びにつながる考え、議論する道徳の授業を実践する。 ○道徳の授業参観を年1回以上行う。 ○自他を尊重する態度を称賛する場を設定する。	・人権集会や平和集会を実施する。 ・学年を中心にチーム・ティーチングによる授業を実践し、道徳教材の工夫改善を行う。 ・褒め短歌、帰りの会でのハートタイムの実践及び道徳コーナーの充実を図る。			
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員95%以上 ○いじめの早期発見につながるアンケートや教育相談を実施する。	・いじめの対応についての研修・会議を年間2回以上行う。 ・学校生活に関するアンケートを毎月実施する。			
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上	・職業調べ・職場体験・進学説明会など学年ごとの体験活動を踏まえて職業観や正しい進路選択の意識や態度を養い、進路学習を充実させる。 ・「キャリアパスポート」を活用し、将来の進路について考えさせる機会を設定する。			
	○教育相談の充実	○「学校生活の中で相談できる人（先生、スクールカウンセラーや友達など）がいる」と肯定的に回答する生徒85%以上	・教育相談週間に年2回設定し、全職員で生徒の相談にあたる。 ・毎週教育相談部会を開催し、SCやSSWの助言をもとに生徒の実態に応じた対応ができる体制を整備する。 ・学活ノート等からトラブルを早期になっ検する。 ・i-check分析の研修会を実施する。			
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒100%	・生徒会給食部の活動と連携し、「食」の大切さについて考える活動を行う。 ・江北小学校の学校栄養職員と連携を図り、各学級、年1回の食の授業を実践する。			
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日や事務処理時間を設定する。 ・ICTを活用した業務の効率化を図る。			

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	
○小・中連携教育	○小学校との連携推進	○小学校との連携が進んだと回答する教師80%以上。	・教務、生徒指導、教育相談、特別支援教育について、小学校との情報共有の場を設定する。			
○特別支援教育	○特別支援教育の充実	○昨年度より特別支援教育が充実したと回答する教師が80%以上。	・個別の指導計画、教育支援計画の様式を見直すとともに該当する生徒の計画を100%作成する。 ・UDの視点から環境整備を行う。 ・特別支援教育に関する校内研修会を2回実施する。			

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p>
--------------------	-------------------------------